

## 競争入札設計図書等に関する回答書

令和7年1月10日

福島県いわき建設事務所長

工事（委託業務）番号	第24-41380-0244号
工事（委託業務）名	河川災害復旧助成工事（橋梁下部）
質 問 事 項	
<p>1. A1橋台配筋図のP10鉄筋及びA2橋台配筋図のP13鉄筋を施工するパラレルウイングの厚さはパラペットより厚さが薄いので、仮に目的がパラペットの補強である場合は水平鉄筋量がウイングより少ないのでしょうか？</p> <p>2. 橋台配筋図の図面番号9/81、11/81、19/81、21/81の図面内に注）として「図面表記は一例であり工法を指定するものではない」と記載されていますが、同じ図面内で「注：半円形フックは前面に設置すること」とか「注：半円形フックは上面橋軸方向鉄筋に掛ける事」といった記載があり、工法を指定しているのではないのでしょうか？</p> <p>3. A1橋台及びA2橋台の土留工は、特記仕様書により任意仮設ではありますが、（参考）と記載され参考図と明記されていない図面には切梁が鉄筋と干渉する箇所の注意書きがありません。土留工の構造を受注者側で再検討した結果、切梁を無くせる構造となった場合は設計変更協議が可能ですか？</p> <p>4. A1橋台の場所打ち杭を施工する際に、鉄筋カゴを組立・仮置きするヤードが橋台背面に確保できないため、河川内を造成してヤードを確保しなければなりません。設計積算されていません。設計変更協議が可能ですか？</p> <p>5. 広畑橋の下部工工事全体の工程において、クリティカルパスとなるのは今後発注されるP1橋脚工事と推察しますが、仮にA2橋台工事とP1橋脚工事の工程が重複してP1橋脚の施工を優先するためにA2橋台の工事が一時中止となった場合は、工事一時中止に係るガイドラインに基づく協議が行われるという理解で良いですか？</p> <p>6. 本工事施工箇所は豪雪補正地区ではありませんが、施工内訳表 頁0-0066号表 バイプロハンマ杭打機運転のクレーンの所在地はB地区でよろしいのでしょうか？</p> <p>7. 施工内訳表 頁0-0066号表 バイプロハンマ杭打機運転のクレーンの所在地がB地区の場合損料に豪雪補正10%は割増されているのでしょうか？</p>	

## 回 答 事 項

1. A1 橋台配筋図の P10 鉄筋及び A2 橋台配筋図の P13 鉄筋はパラペットの補強筋です。また、水平鉄筋量は図面に記載のとおりです。
2. 橋台配筋図の記載内容は設計条件であり、いくつか種類がある機械式定着工法のいずれかを指定するものではありません。
3. A1 橋台土留工詳細図（参考）及び A2 橋台土留工詳細図（参考）は参考図です。また、施工条件の相違等の事実が確認され、必要があると認められるときは、福島県工事請負契約約款第 18 条に基づき協議の対象とします。
4. A1 橋台施工に伴う仮設等のヤードは、左岸上流側の既設構造物撤去後に埋め戻した迂回路との間の平場を想定しております。なお、施工条件の相違等の事実が確認され、必要があると認められるときは、福島県工事請負契約約款第 18 条に基づき協議の対象とします。
5. 施工条件等の変更により一時中止となった場合は、必要に応じ工事一時中止に係るガイドラインに基づき協議の対象とします。
6. 施工内訳表 頁 0-0066 号表 バイブロハンマ杭打機運転のクレーンの所在地を B 地区は誤りであり、正しくは A 地区です。施工内訳書を修正いたしましたので、閲覧図書「kinnuki2.pdf」「sonota2.xlsx」を御確認ください。なお、設計書の修正箇所については、別紙正誤表を御確認願います。
7. 施工内訳表 頁 0-0066 号表 バイブロハンマ杭打機運転のクレーンの所在地を B 地区は誤りであり、正しくは A 地区です。施工内訳書を修正いたしましたので、閲覧図書「kinnuki2.pdf」「sonota2.xlsx」を御確認ください。なお、設計書の修正箇所については、別紙正誤表を御確認願います。